献堂式次第

1987年12月13日(日)

日本福音ルーテル西宮教会

主に栄光あれ。

本日、日本福音ルーテル西宮教会の新会堂の献堂式を迎えますことは、私たちにとりまして無上の喜びとするところであります。ふりかえってみますと、改築が西宮教会において提起されて以来、すでに七年の時が流れております。その間、青年は壮年となり、七年は齢を重ね、幼子は成長いたしました。当初は、ともかく検討してみようということから始まったのですが、幻がその姿をあらわすにつれ、不思議に計画立案にすぐれた人、実行に欠かせない人が与えられ、またこのために必要な資金について祈り求めたところ、私たちの思いをはるかに越えて皆様の御支援を頂くことができました。まことに、『神のなされることは皆その時にかなって美しい。』との思いで、皆様に感謝申し上げるのみであります。

今、夙川の木立の間より輝く教会の十字架を仰ぎ見ますと、旧会堂がいつの間にか都市建築の高層化の中に埋もれ、訪れる人が探すのに苦労していたことが改めて思い起こされます。教会は世の光として主の体として立てられるのでありますから、見知らぬ人に「ここに教会がある。」と知って貰いたい、というのが私たちの希望でありました。その念願がかなった今、私たちは、思いを新たにして「私は、在って在る。」といわれる神のこの器に相応しく、この地で大いに主のわざに励む所存であります。

計画以来、完成に到るまで、実に多くの方々に御支援、御協力を頂き、また御迷惑もおかけいたしました。ここにあらためてお詫びと共に心より御礼申し上げます。特に、私たちの注文に応じて設計を検討し、完成して頂いたグリーンアーバンKKの宮川尚文氏と、終始誠実に工事に携わって下さったコーナン建設株式会社の方々に感謝いたします。最後に、この計画実現のために祈り、尊い献金を捧げ、御奉仕を頂いた主にあるおひとりおひとりに心より感謝を申し上げます。今後共、私たちの教会のわざのために、御加禱、御指導下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

神の御祝福が皆様の上に限り無く豊かにありますようにお祈り申し上げます。

1987年12月13日

日本福音ルーテル西宮教会

牧師 高 井 保 雄 信 徒 一 同

献堂式次第

司式高井保雄(日本福音ルーテル西宮教会牧師)説教・聖別森勉(日本福音ルーテル教会西教区長)祝祷内海革(日本福音ルーテル横浜教会牧師)奏楽横田久仁子(西宮教会オルガニスト)聖歌隊セレスティーナ男声合唱団(指揮 曽 山 一 夫)

前 差	奏		
招言	詞	司式(父と子と聖霊のみ名により)、会衆(アーメン)	
詩篇交記	涜	詩篇24篇	
入	堂	(司式者、説教者、聖歌隊、役員、来賓、工事関係者、会衆	の順)
詩篇交	読	詩篇 122 篇	
聖具設	置		(着)
教会讃美	歌	203(父の神よ、夜は去りて) (一 同)	(立)
聖書朗記	読	列王記上 8:12 ~ 30	(着)
キ リ :	エ	聖 歌 隊	(")
聖	別	森 勉 牧師	(")
アドラムス	テ	聖 歌 隊	(")
信仰告日	É	ニケア信条	(立)
教会讃美語	歌	155(み使いこぞりて) (一 同)	(着)
説	教	『私をささげる献堂』	(")
献	金		(")
独	唱	450(ちからなる神は) 横田浩和兄(西宮教会会員)	(")
教会の祈	り	司 式 者	(立)
主の祈り	り	一同	("
報告と感詞	謝	富田好宏兄(西宮教会代議員)	着
教会讃美語	歌	266(いま主のみ前を) (一 同)	<u> </u>
祝	儔	内海 革 牧師	(")
後	奏		(着)
記念撮影	影	(於会堂)	
祝	会	(於3階集会室)	

* 会堂の入口で司式者は言う。

父と、子と、聖霊のみ名により。

* 会衆はとなえる。

アーメン。

司 われらの助けは主のみ名にあり。

会 あめつちを造りたまえるは主なり。

米 司式者は祈る。

主よ、恵みふかき手をもって、私どものおこなうすべてのことをお導きください。また、み助けにより、私どもの働きが初めより終わりまで、あなたのきよきみ名の栄光をあらわすことができますよう、主イエス・キリストによってお願いします。アーメン。

交 読

詩篇24篇 地と、それに満ちるもの、

世界と、その中に住む者とは主のものである。

主はその基を大海のうえにすえ、

大川のうえに定められた。

主の山に登るべき者はだれか。

その聖所に立つべき者はだれか。

手が清く、心のいさぎよい者、その魂がむなしい事に望みをかけない者、 偽って誓わない者こそ、その人である。

このような人は主から祝福をうけ、

その救の神から義をうける。

これこそ主を慕う者のやから

ヤコブの神の、み顔を求める者のやからである。

門よ、こうべをあげよ。とこしえの戸よ、あがれ。

栄光の王がはいられる。

栄光の王とはだれか。

強く勇しい主、戦いに勇ましい主である。

門よ、こうべをあげよ、とこしえの戸よ、あがれ。

栄光の王がはいられる。

この栄光の王とはだれか。

万軍の主、これこそ栄光の王である。

父、み子、み霊の神にみ栄えあれ。

初めも、今も、後も世々にたえず。アーメン

司 平安がこの家にあるように、

会 ここに集まるすべての者に平安があるように。

入 堂

詩篇122篇 交読

人々がわたしてむかって「われら主の家に行こう」と言った時 わたしは喜んだ。

エルサレムよ。

われらの足はあなたの門のうちに立っている。

しげくつらなった町のように建てられているエルサレムよ、

もろもろの部族すなわち主の部族が、そこによって来て主のみ名に感謝することは、 イスラエルのおきてである。

そこにさばきの座

ダビデの家の王座が設けられてあった。

エルサレムのために平安を祈れ

「エルサレムを愛する者は栄え、その城壁のうちに平安があり、もろもろの殿のうちに安全があるように」と。

わが兄弟および友のために

わたしは「エルサレムのうちに平安があるように」と言い、

われらの神、主の家のために

わたしはエルサレムのさいわいを求めるであろう。

父、み子、み霊の神こそに栄えあれ。

初めも、今も、後も世々にたえず。アーメン。

聖書と礼典用具設置

司 あなたの光とまことをもって、わたしを導き、あなたの聖なる山とあなたの住われる所にわ たしをいたらせてください。その時、わたしは神の祭壇に行き、わたしの大きな喜びである 神へ行きます。神よ、わが神よ。

教会讃美歌 203 (一同)

- 1. 父の神よ、夜は去りて 2. われらいま、み前に立ち さんびのうたを、かしこみ捧ぐ 声もたかく。
 - 2. 神の家に、住まうために ふさわしき、ものとなして 尽きぬめぐみ、あふるる国に まねきたまえ。
 - 3. 三つに在す、聖なる神 み救いを、あたえたまえ、 主のみさかえ、照りかがやきて 西方にあふる。

聖 書 朗 読 (高井牧師)

列王記上 8:12~30

キ リ エ (セレスティーナ男声合唱団)

聖別

司 主、なんじらとともにいまさんことを。 会 主、なんじの霊とともにいまさんことを。

<聖卓の聖別>

<説教台の聖別>

<洗礼盤の聖別>

<教会堂の聖別>

アドラムステ クリステ (セレスティーナ男声合唱団)

信 仰 告 白 (ニケヤ信条)

われは唯一の神、全能の父、天と地と、すべて見ゆるものと見えざるものの造り主を信ず。われは唯一の主イエス・キリストを信ず。主はよろず世のさきに、父より生まれたる神のひとり子、神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、造られずして生まれ、父と同質にしてすべてのものは主によりて造られたり。主はわれら人類のため、また、われらの救いのために天より下り、聖霊によりておとめマリヤより肉体を受けて人となり、われらのためにポンテオ・ピラトのもとに十字架につけられ、苦しみを受けて葬られ、聖書に従い三日目によみがえり、天に上り、父の右に座したまえり。また生ける人と死にたる人とをさばくために、栄光をもって再び来りたまわん。そのみ国はおわることなし。

われは主にして、いのちの与え主なる聖霊を信ず。聖霊は父と子とともにおがみあがめられ、予言者によりて語りたまいし主なり。われは唯一の聖なる使徒たちよりつたわりしキリスト教会を信ず。 われは罪のゆるしのための唯一の洗礼を信認す。死者のよみがえりと来世のいのちを待ち望む。

アーメン

教会 讃美歌 155 (一同)

- み使いこぞりて 主をほめたたえよ、
 ハレルヤ、ハレルヤ。
 ら
 み座をめぐりて よろこびうたえよ、
 ハレルヤ、ハレルヤ、
 ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ。
- 勝利の聖徒ら 主をほめたたえよ、
 ハレルヤ、ハレルヤ、
 たたえのうたをば、喜びうたえや、
 ハレルヤ、ハレルヤ、
 ハレルヤ、ハレルヤ、
 ハレルヤ、ハレルヤ、
- とうときみ母よ 主をほめたたえよ、
 ハレルヤ、ハレルヤ。
 いのちのみことば やどせし恵みを、
 ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ。
- 4. われらも声あげ 主をほめたたえよ、
 ハレルヤ、ハレルヤ、
 父み子み霊の ひとりのみ神を、
 ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ。

説 教 (森 勉 牧師)

『毛をささける献堂』

意 金

独 唱 (横田浩和兄)

教会讃美歌 450 「ちからなる神は」

教会の祈り(司式者)

主の祈り(一同)

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。 み国を来たらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせ たまえ。われらの日ごとのかてをきょうも与えたまえ。われらに罪 を犯すものを、われらがゆるすごとく、われらの罪をもゆるしたま え。われらを試みに会わせず、悪より救い出したまえ。

国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。 アーメン。

建築工事経過報告と感謝 (富田好宏兄)

教 会 讚 美 歌 266 (一 同)

いま主のみ前を われら去るとも

とうと言わが主よともにいたまえ。

あめなるみ使い。調べをかなで、

主化スよわれらに、平和をたまえ。

祝 護 、 内 岩 革 牧師)

アーメン三幅

後 奏

記念写真撮影 (室内で撮ります)

祝 会 (三階集会室へお越し下さい)